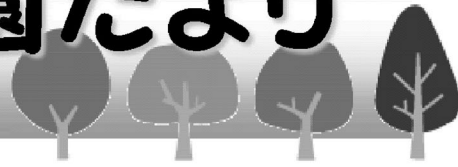


旭川敬老園だより



第81号

岡山市北区祇園866
特別養護老人ホーム
旭川敬老園
発行責任者 森 繁樹
電話 (086) 275-4349



おでん会食のひととき



マスコミ等で報じられるように、今、介護をめぐっては大変な人材不足の状況にあります。都市部等では人材不足のために施設建設を中止したり、施設の一部しか開設できないといった事態も生じています。ここ岡山でも介護人材の不足は深刻であり、旭川敬老園においても決して人ごとではありません。特に、この正月は職員の間で病気が等もあって、大変厳しい状況にありましたが、職員の頑張りでなんとか乗り切ることができました。こうした状況にもかかわらず、来年度からの介護報酬改定では全体として二・二七パーセントの引き下げ(制度上、今後三年間は据え置き)という、介護保険事業者には大変厳しく、かつ将来に不安を覚える決定がなされました。今回の報酬引き下げの背景には、介護保険で儲けて、かつお金を貯め込む事業者も少なくないという財務省の考えがあったとされます。しかし、現実として良心的な運営に努めるならば、決して経営的に余裕が生じる状況にありません。そもそも人件費が事業運営費に占める割合の大きい福祉・介護事業で「儲け」を出そうとすれば、人件費の抑制という手段しかありません。つまり、財務省のいうように一部の事業者が過剰に儲けていたとすれば、その経営者は人手を減らしたり、低い給与で働く人を雇ったりというように、専門的な仕事を行うために必要な「人材確保」に要する費用を支出していなかったということとです。しかし、それは一部の悪徳事業者のことに過ぎず、「儲け過ぎ」の判断の下、事業者全体の介護報酬を引き下げれば、介護問題全般が負のスパイラルに陥りかねません。

平成十二(二〇〇〇)年にスタートした介護保険制度もすでに一五年が過ぎました。制度発足当初は、将来が有望な仕事だとの期待があり、社会的にも関心を集め、働く人々にも多くの希望がありました。しかし、その後、事業者は急増しましたが、その中の一部に不心得者がいた結果、介護サービスの社会的意義が見えにくくなり、職業としての介護の魅力も失われ、昨今の厳しい人材不足の時代を迎えました。実は、本格的な超高齢社会の到来は、団塊の世代が後期高齢者(七十五歳以上)となる二〇二五年前後からです。今後、社会全体として介護の仕事への理解が深まり、より良い制度となる取り組みが進むことを期待します。

これからの介護は？ 介護人材の不足と介護報酬の引き下げ

園長 森 繁樹

ショートステイ通信



今年、ご家族からいただいた柿を使って干し柿と一緒に作りました。職員は干し柿作り初体験でしたが、利用者さんから慣れた手つきで教えていただきました。皮をむいて、ひもでくくってと器用にきれいに干し柿を受けながら利用者さんと一緒に作りました。一カ月ほど敬老園の玄関で干して、出来上がった干し柿の味は格別でした。次回もまた利用者さんの知恵をお借りしながら一緒に作り組んでいきたいと思っております。

2~3月の行事予定

- 2月4日 らーめん会食
- 3月4日 ひなまつり会食

※その他、月に2回書道・華道・手芸クラブ・音楽療法・絵画クラブを開催しております。映画の上映は毎週金曜日です。詳しいクラブ活動の日程・活動内容等につきましては、お気軽に職員へお問い合わせください。

百歳のお祝い

入江静子様が一月初二日に百歳のお誕生日を迎えられました。それに先立ち、昨年十二月二十六日に岡山市より賞状とお祝いの贈呈に来園され、ご本人、ご家族、他入居者、職員とともにお祝いの式典を執り行いました。また、一月二日の誕生日当日には、約二十名のご家族の皆様がお祝いにつけ、ご本人も大変喜ばれた様子でした。入江静子様どうぞこれからも元気で過ごしてください。



衆議院議員選挙 不在者投票

十二月十日、旭川敬老園においても、衆議院議員選挙の不在者投票を実施しました。百歳になられる藤原美子様も投票を行われました。お家で生活されていたところは、なかなか投票所まで行けなかったとのことで、久しぶりの選挙に大変喜ばれていました。



医療福祉学会発表タイトル

一月二十二日、二十三日に第三十二回旭川福祉学会が開催され、旭川敬老園からは次の四題を発表しました。発表内容につきましては、後日旭川敬老園のホームページにも掲載予定です。是非ご覧ください。

- ◆介護過程の発想を活かしたQOL向上への取り組み
- ◆Mさんの褥瘡完治を目指して
- ◆介護老人福祉施設における食形態の変化とQOLの変化
- ◆今後の高齢者福祉のあり方についての一考察
- ◆旭川敬老園の現状と介護保険制度改正を踏まえて
- ◆介護技術向上のための職場内研修について

編集後記

年明け号には、今年も年男・年女で記事を考えました。今年の年男・年女といえば十二支八番目の未です。未の特徴としては、群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起とされています。

特集テーマ ゆく年・くる年

新年ご祈念

1月13日(火) いつも書道でお世話になっている、津田光昭先生により、新年のご祈念をしていただきました。今年は、会場の都合にて3階の中央ホールで行われましたが、多くの入居者の皆様にご参加いただきました。先生からは、「今年も明るく健やかにがんばりましょう」とお言葉をいただき、お正月らしい一日となりました。



クリスマスプレゼント

平成26年11月20日 今年も、神戸海星女子学院小学校の保護者の方6名にご来園いただき、入居者の皆様へ一足早いクリスマスプレゼントをいただきました。今年は、心のこもったメッセージカードを添えて、ひざ掛け又はタオルを頂戴しました。入居者の方も大変喜ばれ、楽しい交流のひとつとなりました。遠方よりお越しいただき、ありがとうございました。



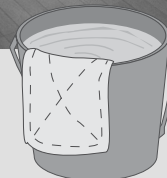
忘年会

12月17日、入居者忘年会が開催されました。大掃除に引き続き、ご家族の方にもご参加いただき、ご家族と一緒に鍋を囲んでの昼食会となりました。味は上々で、お酒を楽しまれた方もおられました。ご家族同士の交流の機会にもなり、楽しいひとときとなりました。また、地域交流ホールでは1階南館の大野様ご家族とお仲間によるバンド演奏も行われ、生演奏を聴きながらの忘年会となりました。有志でのバンド演奏、またご協力いただきましたカトレア会の皆様ありがとうございました。



家族会大掃除

12月17日家族会主催による年末大掃除が行われました。年末のお忙しい時期にもかかわらず、59名のご家族の皆様にご参加いただきました。各ご家族様居室を中心に窓やシンクなど掃除をしていただき、入居者の皆様も気持ちよく新年を迎えられたことと思います。ご参加・ご協力ありがとうございました。



2015年 未年 年男・年女 紹介

84歳



小泉 様



津島 様



畑中 様



大野 様



藤原 様



後藤 様

96歳



坂本 様

72歳



横山 様



今年の抱負

昨年4月に入社した未年の年男の河野雅広です。昨年を振り返ってみますと、新しい環境になかなか馴染めず緊張することも多く周囲の方々に助けていただいた一年でした。

- 今年の抱負といたしまして、
- ①入居されている皆さんの生活を明るく楽しいもの出来るよう、気持ちくみ取った対応や声かけをする。
- ②ご家族と積極的に関わり、ご要望など話しやすい雰囲気を作る。

この二つをこれからも持ち続けてがんばっていきたいと思います。



河野 雅広